



WOWOW

会社案内

見たい、の先へ。

こだわりの映像エンタメを届けつづけてきた私たちの情熱が、さらに進化します。
これからはここにしかない発見や学びで
人生の視野や楽しみ方が広がる体験までもお届けします。

30年目の初心

1991年4月1日、WOWOWは日本初の民間衛星放送局として有料放送事業を開始しました。ハリウッドの新作映画、世界のトップスポーツ、国内外の音楽ライブなど、珠玉のコンテンツを自宅のテレビで楽しめるという、それまでの日本社会にはなかった新しい価値を創造しました。以来数々のエンターテインメントをお届けして開局30周年を迎えることができました。支えていただいた多くのお客様、共に歩んできたクリエイターやアーティストの皆様に、心から感謝申し上げます。

今日、インターネットを通じて多様なエンターテインメントを楽しめるようになり、事業環境は激変しました。WOWOWは、30周年を機に、もう一度社会に新しい価値を提供したいと思います。

2021年1月から、WOWOWはBS視聴環境が整っていても、インターネット環境があればWEB上でご加入いただけるようになりました。見逃せないスポーツも、オリジナルドラマも、「WOWOWオンデマンド」(以下、WOD)ですぐにご視聴いただけます。WOD専用のコンテンツも充実します。さらに、テレビの大画面高画質で楽しみたい方には、3月1日より4Kチャンネル「WOWOW4K」が開局しました。テレビでもスマホでも、お客様のライフスタイルに合わせてWOWOWのエンターテインメントをお楽しみいただきたいと思います。

それだけではありません。これからのWOWOWは、「視聴する」だけでなく、お客様が「参加する」「体験する」「応援する」コミュニティへと進化します。お客様とクリエイターたちをインタラクティブにつなげ、エンターテインメントの文化を共に育て参りたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症の猛威により、社会環境は一変しました。エンターテインメントの世界も厳しい状況がつづいていますが、同時にその重要性が改めて認識されています。スポーツやエンターテインメントを通じて、社会が元気を取り戻し、人々の生活が楽しくなるお手伝いできれば幸いです。

どうぞ変革するWOWOWにご期待ください。

代表取締役 社長執行役員
田中 晃



WOWOWはもうテレビだけじゃない。スマホやタブレットで、いつでも、どこでも。

BS視聴環境が整ってなくてもインターネット環境があれば、スマホやタブレット、PCでWOWOWが気軽に楽しめます。



珠玉のエンターテインメントを結集

オリジナルドラマ、スポーツ、音楽ライブ、映画、海外ドラマなど多様なジャンルを取りそろえています。WOWOWが厳選した映画、見ごたえのあるオリジナルドラマ、ここでしか味わえない音楽ライブやスポーツ中継をいつでも、どこでもお楽しみいただけます。



欧州サッカー UEFAチャンピオンズリーグ 2022-23シーズン

プレーオフから決勝まで全試合独占ライブ配信



LPGA女子ゴルフツアー 日本人選手専用カメラ

日本人選手のラウンドを専用カメラで配信



松任谷由実 コンサートツアー 2021-2022 深海の街

最新ツアーの東京公演を独占放送・配信



連続ドラマW 下町ロケット

池井戸潤の直木賞受賞作を映像化



WOWOWオリジナルドラマ 竹内涼真の撮休

竹内涼真が自分で自分を演じるパラレルストーリー



風味巡礼3 ～海の奇跡を味わう～

食と文化を圧倒的な映像美で描くドキュメンタリー

さらに進化したWOWOW オンデマンド



作品が探しやすくなりました

全体デザインやジャンルのカテゴリがリニューアルされ、作品が探しやすくなりました。



アプリ対応テレビの拡充

WOWOW オンデマンドアプリに対応したテレビ機種が増えてさらに便利になりました。オンデマンド限定配信の作品も大画面でお楽しみいただけます。



ダウンロード機能の搭載

作品をあらかじめダウンロードしておくと、インターネット接続なしでも視聴が可能になりました。

※スマートフォン・タブレット向けアプリに対応しています。一部ご利用いただけない作品もございます。



ピクチャーインピクチャー機能の搭載

再生中の動画が画面の隅に別ウィンドウで表示され、動画を視聴しながら他の操作ができるようになりました。

※PC ブラウザ・iOS 向けアプリのみに対応しています。

WOWOW 独自の強みを生かしたオンデマンド配信へ

「WOWOWオンデマンド」では、放送同時配信、見逃し配信（VOD）、スポーツなどのライブ配信を行なっています。テニスのグランドスラムの全コート配信などに代表される充実したライブ配信は、従来の放送とは違ったWOWOWオンデマンドならではの特徴・魅力だと思います。放送であれば、いくつもの試合の中から一つを切り出してお届けすることになりますが、配信であればいくつものコートの試合を並行して配信し、ユーザーが見たい試合を選ぶことができます。さらに今年、2022年7月のリニューアルでは、コンテンツのダウンロードが可能になったり、ライブ配信でのコメント機能によってユーザー同士がやりとりできるコミュニケーションツールの強化などが施されました。1年ほど前から、今回のリニューアルに向けて部署の全員が注力しており、私自身も関係部署や外部の取引先との交渉や調整、スケジュールの管理、ユーザー管理などの部分を担ってきましたので、ユーザーの皆さんの反応を楽しみにしています。今後も、ユーザーが自分でカメラを切り替えることができるマルチアングル配信やより簡易な決済方法の導入など、ユーザーにとってさらに使いやすく、そしてWOWOW独自の強みを生かした機能を追加していけたらいいなと考えています。



カスタマーエクスペリエンス局
WODサービス部

小野邊 智

あらゆるエンターテインメントの最高峰だけを。

世界中から選りすぐりのエンターテインメントと、WOWOWでしか見られないオリジナル番組を放送と配信でお届けしています。



「ドライブ・マイ・カー」2022年7月放送 ©2021「ドライブ・マイ・カー」製作委員会 「マトリックス レプレクシオズ」2022年9月放送 © 2021 WARNER BROS. ALL RIGHTS RESERVED. 「マスカレード・ナイト」©2021 東野圭吾/集英社映画「マスカレード・ナイト」製作委員会 「スパイダーマン：ノー・ウェイ・ホーム」©2021 Columbia Pictures Industries, Inc. and Marvel Characters, Inc. All Rights Reserved. | MARVEL and all related character names: © & TM 2022 MARVEL

Movies

Awards

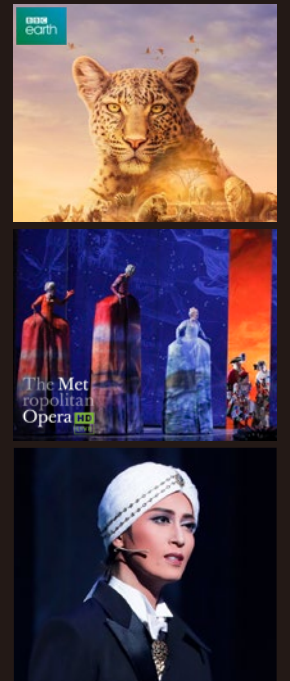
「アカデミー賞」2022年9月放送 ©2022 AMPAS「グラミー賞」2022年11月放送 ©2022 NARAS「トニー賞」2022年6月放送 ©2022 The Broadway League



Original Drama



「連続ドラマW HOTEL-NEXT DOOR」©石森プロ ©WOWOW
「WOWOWオリジナルドラマ ワンナイト・モーニング」
「連続ドラマW 鶴岡川村事件」



Others

BBC Earth 2022 11月放送 ©2022 BBC Studios Photography composite elements Shutterstock, JGP
「宝塚歌劇団」©宝塚歌劇団「宝塚歌劇団」©宝塚歌劇団



「テニス グランドスラム」R.ナダル、大坂なおみ、C.アルカラス、D.メドベージェフ、E.ラドゥカヌ Getty Images、13フィートンテニス 写真:アフロ 「スペインサッカー リーガ」レヴァントフラスカ、ベドリ、ジョアン・フェリックス Getty Images、ヴェニシウス、ベンゼマ、久保建英 写真:アフロ
「南半球4カ国対抗戦 サラグビーチャンピオンシップ」ジェームズ・オコナー、マイケル・フォーバー、ファフ・テクラック、シヤ・コリス、ホーデン・バレット、ダミアン・マッケンジー、フリアン・モントーヤ、バプロ・マテラ Getty Images
「LPGA女子ゴルフツアー」(左上から時計回り)ネリー・コルダ、リディア・コ、コ・シンヨン、古江彩佳、堀岡奈紗、浪野日向子、菅生優花 Getty Images 「エキサイトマッチ」Getty Images

Sports

Music

「TWICE 4TH WORLD TOUR III IN JAPAN」音楽:田中貴太郎
「ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2022」



Foreign Series

「Viaplayセレクション 北欧サスペンス 刑軍ペーテル〜未解決事件捜査班〜」© Viaplay Group.
「クー・ジシエンメッシュ:カイ(尚食(しょうしょく))〜美味なる食は繁華城〜」©2022 Huanyu Entertainment Co., Ltd. 「アン・ヒョソプ×キム・ユジョン(ホソ・チョンギ)」©SBS 「グッド・ドクター」名匠の条件 ©2022 Sony Pictures Entertainment. All Rights Reserved.

WOWOW オリジナル

WOWOWだからこそ表現できるクオリティファーストの作品作りが、国内外で高い評価を得ています。ドラマをはじめとした、あらゆるジャンルのエンターテインメントを作りつづけています。

ドラマW・連続ドラマW

ドラマWは、2003年に「真のエンターテインメント性に富んだドラマを目指し、作品のクオリティを極限まで追求する」というコンセプトのもとにスタート。2008年4月には、「ドラマW」のコンセプトのもとに、継続的にご覧いただけるオリジナルコンテンツをお客様にお届けしたいという想いから「連続ドラマW」がスタートしました。以来、ハイクオリティで独創的なドラマが、次々と生まれています。



原作：山崎豊子『華麗なる一族』（新潮文庫刊）

連続ドラマW
華麗なる一族 東京ドラマアワード2021 連続ドラマ部門 優秀賞 MIPCOM BUYERS' AWARD for Japanese Drama 2021 グランプリ



連続ドラマW
東野圭吾『さまよう刃』
第12回衛星放送協会オリジナル番組アワード 番組部門 ドラマ 最優秀賞



© 朝川まさひと・月島冬二/小学館 ©2021 WOWOWオリジナルドラマ 前科者 一新米保護司 阿川佳代ー 製作委員会

WOWOWオリジナルドラマ
前科者 一新米保護司・阿川佳代ー
第48回放送文化基金賞 番組部門 テレビドラマ番組 奨励賞



連続ドラマW
コールドケース ～真実の扉～
東京ドラマアワード2017特別賞、ABU賞ドラマ部門ファイナリスト選出

ハリウッド共同制作オリジナルドラマ

WOWOWとHBO Maxの日米共同制作による超大作ドラマとして、巨匠マイケル・マンを監督に迎え、全編オール日本ロケで描いた、日米スター共演の超大作ドラマシリーズです。



TOKYO VICE

アニメ

1998年のWOWOW初オリジナルアニメ「ブレンパワード」以降、数多くの作品を世に送り出してきました。



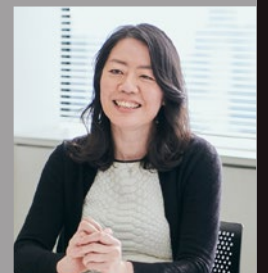
永遠の831



火狩りの王
2023年放送・配信予定

ハリウッドと日本を結ぶ架け橋に

私は2011年から2021年までアメリカのロサンゼルス事務所に派遣され、LA事務所の開所から閉所まで、ハリウッドのメジャースタジオとの契約や国際共同制作に携わりました。「TOKYO VICE」との出会いは2018年にカンヌのテレビマーケットでエンデバー・コンテンツという制作会社からの企画を持ちかけられことがきっかけです。当時はまだマイケル・マンが監督することも決まっておらず、主演以外のキャストも交渉中でしたが、何か感じるものがあったので「必ず参加する」と約束し、交渉を進めました。2020年の3月に撮影が始まるもコロナ禍の影響で撮影が中断となり、約半年ほど撮影チームが日本に入国できない状況が続きました。そこで関係省庁との調整役を引き受けて、なんとか撮影チームが入国することができて、当初の希望どおり全編を日本で撮影することができました。「TOKYO VICE」で初めてハリウッド方式の制作現場を知った日本のスタッフたちは、普段は使わないような高価な機材や、徹底的にこだわった画作りの様子を間近で見て、大いに刺激を受けていました。そこで得た経験は、必ず次の現場で生きてくるはずで、それが日本のコンテンツ産業全体の成長にもつながると信じています。私自身もこれまで培ってきた経験や知識を活かし、ハリウッドと日本を結ぶ架け橋となって、WOWOWを見てくださっている方により上質で面白い作品をお届けしていきたいです。



事業局
事業部
鷲尾 賀代

WOWOW オリジナル

WOWOWでは番組の放送・配信のほかにオリジナル イベントの開催や映画製作にも取り組んでいます。

WOWOW オリジナルイベント

富士山の麓で極上の音楽に包まれるキャンプフェス「FUJI & SUN」をはじめとして、27歳でこの世を去った伝説のロックシンガー、ジャニス・ジョプリンの音楽人生を描いたブロードウェイミュージカル「ジャニス」や、日本を代表するドラマーであり、ワールドワイドに活躍する屋敷豪太の60歳を祝う、豪華シンガーによるアニバーサリーLIVEイベントなどを開催しています。



FUJI & SUN



ブロードウェイミュージカル『ジャニス』



屋敷豪太～Happy60～

WOWOW FILMS

2007年に立ち上げた劇場用映画レーベル「WOWOW FILMS」。徹底してクオリティにこだわったエンターテインメント性の高い映画を企画・製作し、日本のみならず世界の映画ファンへもお届けしています。WOWOWオリジナルドラマと連動した大型作品や海外映画祭に出品される作品など、WOWOWならではの多岐にわたる製作展開で、多くの映画ファンを魅了しています。



アキラとあきら



前科者



明日の食卓



太陽は動かない



罪の声



音量をあげるタコ!
なに歌ってんのか
全然わかんねえんだよ!!



犯人に告ぐ

新しい映画作りにどんどんトライしていきたい

WOWOWの映画レーベル「WOWOW FILMS」の作品である『前科者』、『アキラとあきら』にプロデューサーとして参加しました。『前科者』は原作の漫画を読んだ時に、映画1本では描き切れない一人の女性の成長を丁寧に描きたいと感じたので、全6話のドラマにつづく形で映画版を制作することにしました。ドラマ版はWOWOWのドラマ好きのお客様に楽しんでいただけるよう設定の分かりやすさを意識しつつ、リアリティのある描写にこだわって制作しました。それに対して映画版ではドラマを見てくださったお客様への良い意味での“裏切り”、センセーショナルな部分を残したいと考えて脚本開発に臨みました。

作家 池井戸潤さんの小説『アキラとあきら』は2017年に連続ドラマWで放送されましたが、キャストもスタッフも一新し、全く新しい形で映画化しました。この映画では貧しい家庭育ちの山崎瑛くアキラ>と裕福な家庭に育った階堂彬くあきら>2人の若き銀行員の人生が交錯する物語になっています。ライバル関係の2人がぶつかり合いながらも、お互いが切磋琢磨し、やがて手を取り合って一つの会社を救う単なる企業ドラマではない感動的な作品にしたいと考え、青春映画やヒューマンドラマで高い評価を得ている三木孝浩監督にお願いしました。邦画の興行がなかなか厳しい時代だと言われていますが、そんな今だからこそ、過去の成功体験にとらわれないチャレンジングな企画、未来に向けた新しい映画作りにどんどんトライしていきたいと思っています。



事業局
事業部

加茂 義隆

映像を超えた体験へ。

映像を見るだけではなく、好きなジャンルや番組をもっともっと楽しんでいただくためのコミュニティ・サービスを展開し、参加・応援・体験といったインタラクティブなつながりを提供しています。

WOWOW
TENNIS
WORLD

WOWOWテニスワールド

試合前のワクワク、試合の興奮、
試合後の余韻まで
テニスのすべてを楽しみ尽くす



練習コート

選手の貴重な練習姿をお届け

練習コート

試合結果 / 放送予定



試合結果 / 放送予定

各コートの試合速報をリアルタイムで更新

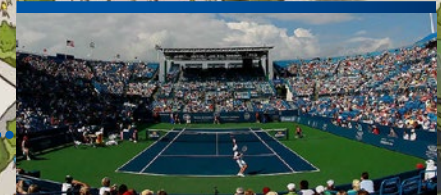
記者会見



記者会見

試合後の選手の「生の声」をお届け

ドロー(トーナメント表)



ドロー(トーナメント表)

最新の選手の勝ち上がりをチェック

プラスαコート



プラスαコート

放送ではお届けしきれない試合を無料ライブ配信！

※画像イメージは2021年全米オープンのもので、Photos by Getty Images

女子テニス未来応援プロジェクト ～Go for the GRAND SLAM～



女子テニス
未来応援
プロジェクト
Go for the GRAND SLAM

伊達公子氏が2019年より開始したジュニア育成プロジェクト『リボビタン Presents 伊達公子×YONEX PROJECT ～Go for the GRAND SLAM～』。その志に賛同したWOWOWが、ともに日本テニスの未来を築くための応援企画として、テニスファンが未来のスター選手たちの夢を後押しできる仕組みを作りました。「コンテンツによる情報発信(番組、WEB、SNS)」と「テニスファンによる金銭応援(応援グッズ販売の売上寄附)」を通じて、ジュニア選手を応援し、ひいては日本のテニス文化のさらなる発展を支えています。

WOWOWテニスワールドが日本と世界をつなぐ存在に

「WOWOWテニスワールド」は、30年テニスを放送してきたWOWOWが、テニスファンの方々に「見る」だけでなく「体験する」、「つながる」ことで、さらに深くより広くテニスの魅力を味わっていただきたいというコンセプトで誕生したコミュニティです。お客様の生の声を施策に反映させるために、コアなテニスファンのお客様にどんなサービスがあるとよいかヒアリングし、試合前の練習コートや記者会見の配信が実現しました。これまでプロデューサーとしてスポーツ中継に携わり、現地からの試合映像に実況・解説、企画VTRをつけて、いかに魅力的に見せるか？ということをやってきましたが、「WOWOWテニスワールド」をオーガナイズする中で、作り手の想いが大切なのはもちろん、お客様の声に耳を傾けることの重要性に改めて気付かされました。「コミュニティ」に関しても同じで、WOWOWが箱を作って「ここです」と言えば人が集まるという簡単なものではありません。既存のテニスファンのコミュニティにWOWOWのコンテンツをいかになじませていくか——「WOWOWってこんなことやってるんだ!」という理解を少しずつ広げていきたいなと考えています。コロナ禍でなかなか現地に行くのが難しい状況ですが、「WOWOWテニスワールド」をハブにして世界のテニスに触れていただき、その取り組みが最終的に日本のテニス文化の向上・発展につながればと思っています。



スポーツ局
スポーツ部

早川 敬

彩りを感じる体験を。

4K放送ならではの映像美。WOWOWならではの番組セレクション・映像体験。
これらを融合し、ここでしか味わえない至高のエンターテインメント体験をお届けします。

4Kだからこそ味わえる圧倒的な映像体験

WOWOW
4K

VERMILION

THE GREAT BELOW

BLUE HORIZON

「VERMILION 赤く輝く神の山“ヤスール”」「THE GREAT BELOW 世界最大の洞窟 ソンドン探検記」「BLUE HORIZON 成層圏から見た地球」

“WOWOWクオリティ”を支える最新技術

日本でも数少ない3Dオーディオ制作や4K HDR制作などの最先端の技術により、
WOWOWならではのハイクオリティなコンテンツ・視聴体験を生み出しています。

放送センター

4K収録にまつわる作業拠点の拡充や多様化する国内外の映像回線に柔軟に対応する回線センター、WOWOWオンデマンドの配信をスピーディーに行うWEB配信センター、貴重な収録・編集素材をすべて保存するアーカイブ室など、体制を日々進化させています。さらに、5.1chサラウンドの2カ国語放送に対応する設備や最新鋭のスピーカー導入により、音楽ライブやスポーツの臨場感が向上。とりわけ自社グループの技術スタッフが中心となって制作する音楽ライブ生中継はアーティストからの信頼も厚く、卓越したカメラワーク、スイッチング技術、録音技術により、まるで会場にいるかのような体験を視聴者に提供しています。



WOWOW Lab

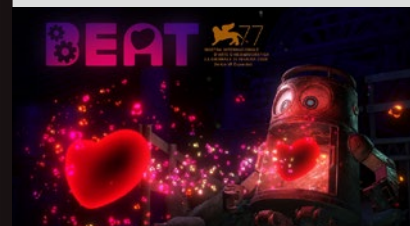
映像 / 音声 / xR / Connected Media

WOWOW Labでは、テクノロジーを使って新しいコンテンツやサービスの可能性を追求しています。社外のような企業・アーティスト・エンジニア・クリエイターとWOWOWのプロデューサーがコラボレーションしながら未来のWOWOW、そして新しいエンターテインメントを作っています。

VR作品

xR領域の取り組みとして、2020年よりCinemaLeapとVR作品を共同製作しています。これまで、伊東ケイスケ監督による「Beat」、「Clap」、「Typeman」の3作品を製作しており、国内外で高い評価を得ています。

WOWOW × CinemaLeap



Beat



Clap



Typeman

リアルとデジタルを融合させた新しいエンタメを！

VRアニメーション「Beat」と「Clap」は、新たな技術やデバイスを使ってより豊かな映像表現を追求していく中で企画・制作したものです。VRの魅力である、物語の世界に入り込むことができる“没入感”をより体感できるように、単に「見る」だけでなく、その世界やストーリーに影響を与えられる“インタラクティブ性”を重視しました。「Beat」では見る人の心臓の鼓動をVR映像と連動させ、「Clap」では拍手が主人公の心理や行動に影響を与える仕組みになっています。プロデューサーという立場で企画段階から関わっていく中で、大変であり、楽しくもあるのが、それらの技術をどうストーリーに取り込むかを監督やスタッフ陣と話し合っていく過程です。技術はあくまでも物語や監督が伝えたいテーマを形にするために必要な存在であって、主役ではないんです。いかに違和感なく、自然な形で技術が作品に溶け込ませるか？ 難しい部分だからこそ、話し合った内容が作品として実現した時の達成感は大きいです。最新作の「Typeman」はメタバース（バーチャル空間）でアクターと体験者がコミュニケーションをとりながらストーリーを進めていくという新しい形の演劇です。今後は飛び出す絵本のようなリアルとAR（拡張現実）を連動させたものを作りたいです。デジタルを融合させることで、リアルをより深く体感できるような新しいエンターテインメントを作りたいと思っています。



技術局
技術企画部

藤岡 寛子

社会への取り組み

WOWOWは「エンターテインメントを通じ人々の幸福と豊
エンターテインメント企業として、多様な価値観が尊重さ

かな文化の創造に貢献」することを企業理念としています。
れ寛容さが育まれる社会の実現に貢献してまいります。

IPC&WOWOW パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM

WOWOWとIPC(国際パラリンピック委員会)との共同プロジェクトとして
2016年にスタートして以来、25カ国40組の世界最高峰のトップアスリートたちに
迫ってきた「WHO I AM」シリーズが、教材活用やイベントや企業コラボなど
放送・配信以外の展開も含めてさらにパワーアップしました。



シーズン1 (エリー・コール) : 2017年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀
シーズン2 (森井大輝) : 第60回科学技術映像祭 研究・技術開発部門 文部科学大臣賞 / 第49回科学放送高輝賞 最優秀賞
シーズン2 (ベアトリーチェ・ヴィオ) : ABU(アジア太平洋放送連合)賞2018 テレビ・スポーツ部門 最優秀賞 / 2018年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀
シーズン2 (全8回) : 第46回国際エミー賞 ドキュメンタリー番組部門 ノミネート / 第23回アジア・テレビジョン・アワード ドキュメンタリーシリーズ部門 ノミネート
シーズン3 (全8回) : 第24回アジア・テレビジョン・アワード ドキュメンタリーシリーズ部門 ノミネート
シーズン4 (カーティス・マグラス) : 第10回衛星放送協会オリジナル番組アワード 番組部門ドキュメンタリー 最優秀賞 / 2020年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀
東京パラリンピック完全版(本村敬一) : 2022年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀

多様性を認め合う未来社会への貢献を目指して

2016年にスタートした「パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM」。世界の第一線で活躍する
25カ国40組のアスリートたち取材し、番組化してきました。彼らの多くは、リオ、平昌はもちろん、東京パラ
リンピックや北京パラリンピックでも大活躍し、圧倒的な輝きを放ちました。シリーズ立ち上げ以来、彼らの
輝かしいキャリアを裏づける生き方や考え方は、私たちに多くのことを教えてくれました。ポジティブでいる
こと、夢や目標を持ち、困難な時こそ前を向き一歩を踏み出す大切さ、そして何より、「自分らしくあること」。
そんなメッセージを発信すべく、WHO I AM PROJECTでは、東京オリンピック・パラリンピックの開催と
その先の未来を見据え、シリーズの放送・配信に加え、「放送はゴールではなくスタート」を合言葉に、映像の
全国教材としての活用や、大学などの教育機関や企業での講義講演活動、ユニバーサルスポーツイベント
「ノーバリアゲームズ 〜#みんなちがってみんないい〜」の立ち上げ、企業とのコラボレーションなど、広く
社会へ向けた発信をつづけてきました。この活動にもゴールはありません。2022年以降も、WOWOW
WHO I AM PROJECTは真に多様性を認め合う未来社会への貢献を目指し、たくさんの方々のお力をお
借りしながら、さらにパワーアップしていきます。ぜひご期待ください。



コンテンツ制作局
制作部

太田 慎也

パラスポーツ応援プロジェクト

WOWOWでは車いすバスケットボールをはじめとしたアスリートの可能性や
スポーツ界のさらなる発展に寄与するため、様々な活動を行っています。



ジュニア選手に競技用車いすを贈る「パラス
ポーツ応援プロジェクト」は、アスリート採用の
第1号としてWOWOWに入社した豊島が中心
となって展開した取り組みです。車いすバスケット
ボール連盟や車いすバスケットボール選手、
車いすテニスの国枝慎吾選手や上地結衣選手
にも賛同いただき、WOWOWの公式オンライ
ンストア「wowshop」でオリジナルグッズ等を
販売。その売上から、車いすバスケットボールの
ジュニア選手11名に競技用車いすを寄贈し、強化
活動費を連盟に寄附しました。そのほか、豊島
に加え鳥海・古澤も日本各地で講演や体験会
などを実施しております。当社は所属アスリート
の競技活動のサポートだけでなく、彼らが今
まで培ってきた経験を利活用することで、パラス
ポーツの普及・強化に貢献できるよう注力し
ています。

〈上〉豊島 英 (とよしま あきら)

車いすバスケットボール 東京パラリンピック銀メダリスト
2015年4月入社 / 広報・IR部

〈左〉鳥海 連志 (ちょうかい れんし)

車いすバスケットボール 東京パラリンピック銀メダリスト
2019年5月入社 / 人事部

〈右〉古澤 拓也 (ふるさわ たくや)

車いすバスケットボール 東京パラリンピック銀メダリスト
2020年4月入社 / 人事部

字幕放送



聴覚障がいのある方やテレビの音が聞こえにくい方々にも番組を楽しんでいただくために、
2015年12月より字幕放送(クローズドキャプション)をスタートしました。
字幕放送はパッケージ字幕とリアルタイム字幕の2つに分けられます。

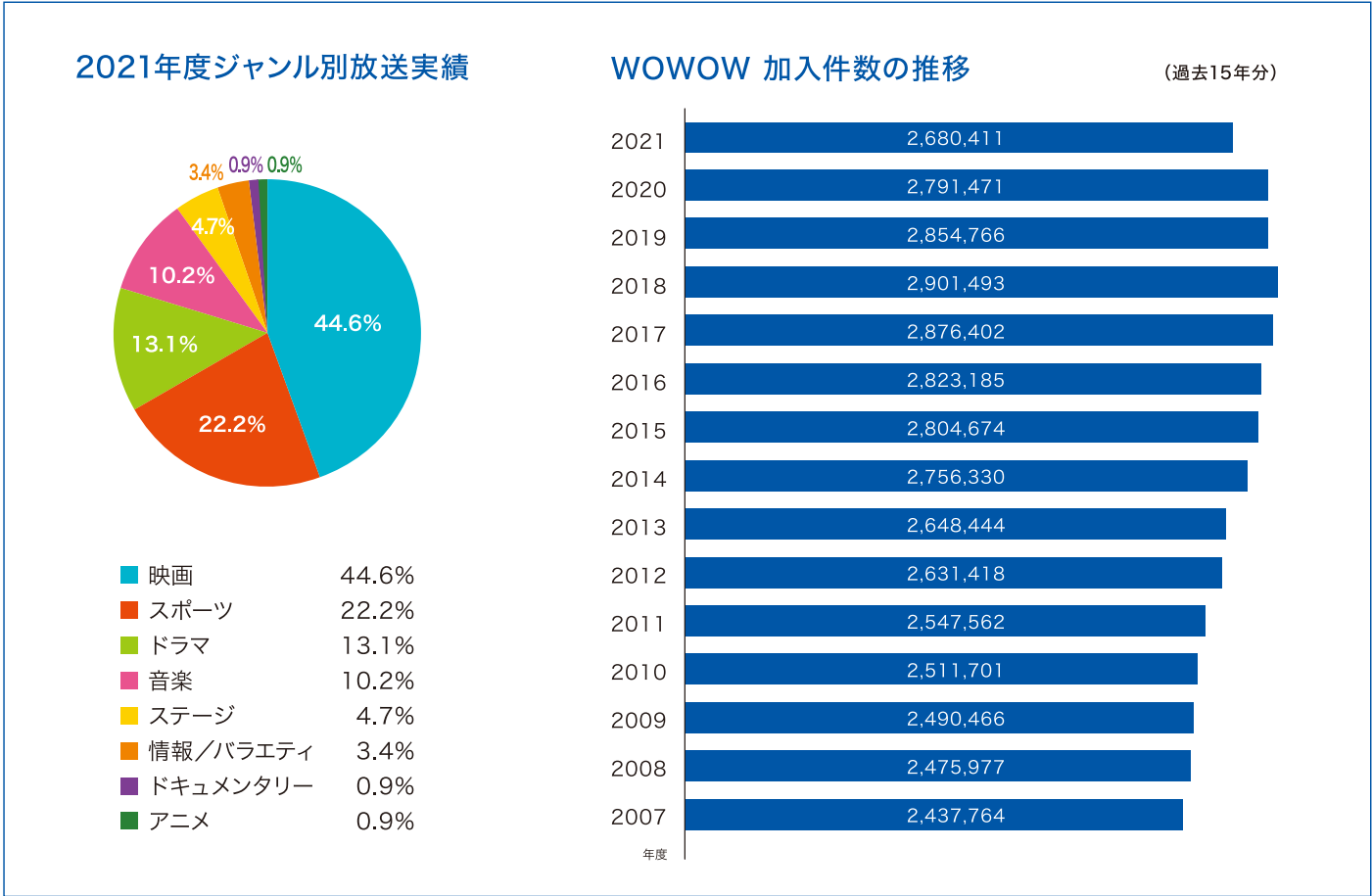
パッケージ字幕

邦画および洋画吹替版の映画など、作品に付ける字幕。セリフに加え、“パトカーのサイレン音”
等の効果音も字幕で表示し、より多くのお客様に番組内容を理解いただけるように工夫して
います。

リアルタイム字幕

海外サッカーなど生中継のスポーツ番組に付ける字幕。放送での実況・解説を聞き取り発話
するリスピーカー、字幕の確認・修正を行う修正者、進行管理のディレクターの3名で運用して
おり、実況・解説や会場音が醸し出す臨場感をそのまま字幕にしています。

放送実績



沿革

1984年	初の民間衛星放送会社「日本衛星放送(現WOWOW)」設立
1989年	チャンネルの愛称を「WOWOW」と決める
1990年	東京・中央区に視聴者サービスセンターを開設、東京・江東区に放送センターが完成 サービス放送開始(12時間、無料放送)
1991年	開局 営業放送開始(24時間、有料放送)、ハイビジョン試験放送開始、在京キー5局の送出業務受託
1992年	累計正味加入契約数100万世帯突破(世界の有料テレビ史上最短)
1996年	累計正味加入契約数が200万世帯を突破
1998年	横浜カスタマーセンター開所 累計正味加入契約数250万世帯を突破
2000年	社名を「株式会社WOWOW」に改める、BSデジタル放送を開始
2001年	東京証券取引所マザーズに株式上場
2003年	「ドラマW」放送スタート 第1回作品は「センセイの鞆」
2005年	創業以来、初の配当を実施
2010年	スカパー! HD(621～623ch)で放送開始、IPTVサービス「ひかりTV」で放送開始
2011年	東京証券取引所 市場第一部へ上場市場を変更、BSアナログ放送終了
2012年	加入者限定無料番組配信サービス「WOWOWメンバーズオンデマンド」開始
2013年	初の4K制作ドラマ「ドラマW チキンレース」放送
2014年	WOWOW×TBS共同制作 連続ドラマ「MOZU」放送
2015年	グランドスラム4大会すべてで車いすテニスを放送、初の4K HDR制作ドラマ「連続ドラマW 海に降る」放送 クローズドキャプション字幕放送を開始
2016年	IPC×WOWOW パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ「WHO I AM」放送開始
2017年	株式会社アクトピラ、株式会社IMAGICAティーヴィの株式を取得して子会社化
2018年	放送のネット同時配信を開始
2019年	スカパー! 110度で放送開始
2021年	「WOWOWオンデマンド」開始、「WOWOW 4K」開局
2022年	東京証券取引所 プライム市場に移行、監査等委員会設置会社へ移行

会社情報

会社概要

社名

株式会社WOWOW

URL

WOWOW オンライン
https://www.wowow.co.jp

コーポレートサイト
https://corporate.wowow.co.jp

主な事業

放送法に基づく基幹放送事業および
一般放送事業

放送チャンネル

デジタル放送 テレビ
BSデジタル191、192、193ch
BS4K 9ch
データ放送
BSデジタル791、792ch

設立

1984年12月25日

営業放送開始

アナログ放送 1991年4月1日
(2011年7月24日に終了)
デジタル放送 2000年12月1日
4K放送 2021年3月1日

資本金

50億円

従業員

295名(2022年3月31日現在)

所在地

〒107-6121
東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル21F
Tel.03-4330-8111(代表)

役員紹介

代表取締役 社長執行役員

田中 晃

取締役 常務執行役員

田代 秀樹

取締役 常務執行役員

熨斗 賢司

取締役 常務執行役員

水口 昌彦

取締役 常務執行役員

山本 均

取締役 常務執行役員

尾上 純一

取締役 常務執行役員

郡司 誠致

取締役 監査等委員

山内 文博

取締役(非常勤)

大友 淳

取締役(非常勤)

清水 賢治

取締役(非常勤)

福田 博之

取締役(非常勤)

永井 聖士

取締役 監査等委員(非常勤)

草間 高志

取締役 監査等委員(非常勤)

高橋 秀行

取締役 監査等委員(非常勤)

村井 満

株式の状況(2022年3月31日現在)

発行済株式の総数

28,844,400株

株主数

23,528名

主な株主(2022年3月31日現在)

株式会社フジ・メディア・ホールディングス

株式会社TBSホールディングス

日本テレビ放送網株式会社

日本マスタートラスト信託銀行株式会社
(退職給付信託口・株式会社電通口)

STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224
(常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)

決算ハイライト(連結)(2021年度)

売上高

79,657百万円

営業利益

5,268百万円

経常利益

5,349百万円

親会社に帰属する当期純利益

4,239百万円

財務ハイライト(連結)(2021年度)

総資産

99,652百万円

負債合計

32,696百万円

純資産

66,956百万円

関連会社

- 株式会社WOWOWコミュニケーションズ / テレマーケティング、デジタルマーケティングサービス等
- 株式会社WOWOWプラス / BS/CSデジタル放送等
- WOWOWエンタテインメント株式会社 / 番組制作、番組中継収録等